

【授業科目】看護技術論Ⅲ（診療援助技術）

Fundamental Nursing Art Practice Ⅲ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
久留島 実姫、中村 いお美	2年次後期	必修	1	30	演習	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	授業概要/本科目は、学生個々の主体的な学習を基盤に、何らかの検査・処置を必要とする人への看護援助の基礎を学ぶ。看護実践を行うために必要な観察と検査・処置を受ける対象者の心理、解剖生理学、薬理学等の既習知識に裏付けられた安全な看護技術を修得する。授業は、講義・演習形式で、個々の学修を深めるためにグループやペアでディスカッション、ワークを行う。 課題に対するフィードバック方法/①提出された課題にコメントをつけて返却する。②講義時に全体に対してコメントを口頭で述べる。③全体に対するコメントをまとめたものを提示する。①②③いずれかの方法で行う。							
実務経験に関する授業内容	看護師の臨床経験をもつ教員が、看護師として必要な診療の補助の知識と技術について、典型的な事例（シナリオ）を用いて、ディスカッションを交えながら学生の主体的な学習を支援していく科目である。							
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1. 看護援助を実施するために必要な観察と判断ができる。 2. 検査・処置に関する基本的な看護技術の根拠を述べることができる。 3. 検査・処置を必要とする人の心理面に配慮して、安全性・安楽性・自立/自律性と効率性を考慮した看護実践ができる。							
時間外学習に必要な内容・時間	【事前学習】第1回～15回 1. 該当部分の教科書を読む。 2. Teams に提示された事前課題、クイズに取り組み、期限内に提出する。 3. 必要時、該当部分の動画を視聴する。 【事後課題】第1回～15回 1. Teams に提示された事後課題、振り返りに取り組み、期限内に提出する。 2. 各自で講義内容を整理する。 【必要な学習時間】 事前課題+事後課題=1時間/回 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回 ガイダンス（講義）/看護実践スクリプト（講義/演習） 第2回 滅菌物の取り扱い【滅菌手袋の着脱】（講義/演習）※ 第3回 検査時の援助（講義/演習） 第4回 検体検査の準備【静脈血採血】（演習） 第5回 検体検査の実施【静脈血採血】（演習） 第6回 事例を用いた検体検査の実施【静脈血採血】（演習） 第7回 与薬の援助（講義/演習） 第8回 与薬の準備【皮下注射】（講義/演習） 第9回 事例を用いた与薬の実施【皮下注射】（講義/演習） 第10回 事例を用いた排泄障害の援助【浣腸】（講義/演習） 第11回 事例を用いた栄養と呼吸を整える援助【経管栄養・酸素療法】（講義/演習） 第12～15回 事例を用いた技術の統合【点滴静脈内注射・持続的導尿】/まとめ・振り返り（講義/演習）						第1回 久留島 第2回 久留島・中村 第3回～10回 中村・久留島 第11回～15回 久留島・中村	
評価方法 評価基準	定期試験：30% 事前・事後課題：55% 技術到達度の確認：5% 技術の統合：10%							
教科書	1. 任 和子 『基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ』 医学書院 2. 任 和子編『根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術』医学書院 3. 池上敬一著『急変させない患者観察テクニック』羊土社 4. 土居健太郎『系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進[2]病態生理学』医学書院 *1・3・4は1年次に使用したもの、2は2年次前期に使用したもの			参考書等		1. 井上智子他編『緊急度・重症度からみた症状別看護過程』医学書院 2. 井上智子他編『病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程』医学書院 3. 香春 知永 『系統看護学講座基礎看護学[4]臨床看護総論』医学書院 4. 武田 裕子他編『ナーシンググラフィカ 人体の機能と構造 I 解剖生理学』メディカ出版 *1～4は1年次に使用したもの		
学生への助言等	授業は課題の実施を前提に行います。みなさんの効果的な学修活動のために必ず取り組んでください。また、本科目での資料は、原則 Teams に Up しますので、必ず各自でダウンロードまたはプリントアウトをして授業に臨んでください。みなさんが自律的に学修されることを期待しています。							